vinetur

9月までのカスティーリャ・ラ・マンチャ州のワイン生産量、スペインの他地域の合計を上回る

スペインの2026/2027年度最初の2カ月の生産量は2,938万ヘクトリットル。カスティーリャ・ラ・マンチャ州が全体の54.6%を占めた

2026年11月6日（金）



農業・漁業・食料省が11月に公表したデータによると、スペインでは2026/2027年度の最初の2カ月にあたる8月1日から9月30日までに、2,938万ヘクトリットルのワイン生産が申告された。白ワインは全体の57.7%にあたる1,695万ヘクトリットルで、赤ワインとロゼワインは合計1,243万ヘクトリットルだった。

年度序盤の生産量では、カスティーリャ・ラ・マンチャ州が突出した。同州の生産量は1,604万ヘクトリットルで、期間中に申告されたワイン全体の54.6%を占め、スペインの他地域の合計を上回った。9月末時点で、統計の対象となる事業者が報告したワイン在庫は5,362万ヘクトリットルだった。非濃縮ブドウ果汁を含めると、在庫総量は6,158万ヘクトリットルに達した。

これらの数値は、スペインのワイン産業市場情報システム（INFOVI）が10月28日に抽出したデータに基づく。省によると、生産データの対象は年間生産量が1,000ヘクトリットル以上の生産者で、在庫と移動量の表には保管事業者も含まれる。このため、報告書は年度の部分的な状況を示すものであり、最終的な収穫量や2026年通年の生産量ではない。

この2カ月間に施設へ搬入されたブドウは合計45億8,000万キログラムだった。白ブドウは全体の60.3%にあたる27億6,000万キログラム、黒ブドウは18億2,000万キログラムで39.7%を占めた。9月だけでブドウが30億7,000万キログラム、ワインが1,870万ヘクトリットルとなり、同月の申告量は年度開始後のワイン生産量の63.7%にあたった。

主要なワインの種類別でも、カスティーリャ・ラ・マンチャ州がいずれも最多だった。内訳は白ワインが955万ヘクトリットル、赤ワインとロゼワインが合計649万ヘクトリットル。同州にはブドウも26億7,000万キログラム搬入された。

累計生産量で2位はエストレマドゥーラ州の332万ヘクトリットル、3位はカタルーニャ州の227万ヘクトリットルだった。この3州で申告された国内生産量の73.6%を占めた。続いてカスティーリャ・イ・レオン州が185万ヘクトリットル、ラ・リオハ州が156万ヘクトリットル、バレンシア州が122万ヘクトリットルだった。9月までの申告生産量の89.4%を上位6州が占めた。

ワインの種類別構成は地域によって大きく異なった。白ワインの割合はエストレマドゥーラ州で76.6%、カタルーニャ州で78.9%だった。ガリシア州では89.8%、アンダルシア州では97.5%に上り、生産量はそれぞれ38万9,210ヘクトリットル、75万193ヘクトリットルだった。一方、ラ・リオハ州では申告されたワインの90.1%、ムルシア州では92.9%を赤ワインとロゼワインが占めた。カスティーリャ・イ・レオン州は比較的均衡しており、白ワインの割合は53.6%だった。

新たな収穫分がシステムに計上され、9月にはワイン在庫が大幅に増加した。申告されたワイン在庫は月初の3,712万ヘクトリットルから月末には5,362万ヘクトリットルに増え、1,650万ヘクトリットル、率にして44.4%の増加となった。非濃縮ブドウ果汁は287万ヘクトリットルから796万ヘクトリットルに増加した。ワインと非濃縮ブドウ果汁を合わせた在庫は、月中に3,999万ヘクトリットルから6,158万ヘクトリットルへと増えた。省は、この比較は9月中の変化を示すものであり、前年同期比の増加として解釈すべきではないとしている。

在庫増加の大半はバルクワインによるものだった。9月末のバルクワイン在庫は4,773万ヘクトリットルで、ワイン在庫全体の89%を占めた。瓶詰めワインは589万ヘクトリットルで、月初の611万ヘクトリットルから22万3,470ヘクトリットル、3.7%減少した。色別の在庫はほぼ同水準で、赤ワインとロゼワインが2,683万ヘクトリットル、白ワインが2,679万ヘクトリットルだった。

保管中のワインもカスティーリャ・ラ・マンチャ州が最多で、2,169万ヘクトリットルと申告された国内総量の40.4%を占めた。次いでカタルーニャ州が616万ヘクトリットル、ラ・リオハ州が537万ヘクトリットル、カスティーリャ・イ・レオン州が421万ヘクトリットル、エストレマドゥーラ州が374万ヘクトリットル、アンダルシア州が325万ヘクトリットルだった。省によると、これらの在庫は9月末に施設に残っていたワインを示しており、新年度に生産されたワインだけではない。

非濃縮ブドウ果汁では、カスティーリャ・ラ・マンチャ州への集中がさらに顕著だった。同州の在庫は645万ヘクトリットルで、国内総量の81%を占めた。バレンシア州は70万4,683ヘクトリットル、

カタルーニャ州は29万6,334ヘクトリットル、エストレマドゥーラ州は23万6,016ヘクトリットルだった。ワインと非濃縮ブドウ果汁を合わせると、カスティーリャ・ラ・マンチャ州の在庫は2,814万ヘクトリットルに達し、スペイン全体の45.7%を占めた。INFOVIはこれとは別に、濃縮果汁、精留濃縮果汁、部分発酵果汁を計24万3,096ヘクトリットルと集計した。

9月のワイン移動量を見ると、出荷量は合計369万ヘクトリットルだった。このうち233万ヘクトリットルが国内向け、137万ヘクトリットルが海外向けだった。申告された出荷量の37%が国外向けとなる。省は、これらは月間の移動量であり、8月と9月に申告された累計生産量2,938万ヘクトリットルと混同すべきではないと指摘した。

蒸留と食酢製造を除く国内向け出荷量は229万ヘクトリットルだった。内訳はバルクワインが140万ヘクトリットル、瓶詰めワインが88万4,611ヘクトリットル。こうした国内移動量はカスティーリャ・ラ・マンチャ州が97万8,940ヘクトリットルで最多となり、カタルーニャ州が24万9,699ヘクトリットル、カスティーリャ・イ・レオン州が18万7,531ヘクトリットルで続いた。省によると、事業者間の移送も含まれるため、これらの数値は家庭や飲食店での消費量を直接示すものではない。一方、他のスペイン国内事業者から報告対象施設に搬入されたワインは合計169万ヘクトリットルだった。

その他の国内向け出荷量は比較的少なかった。蒸留所向けは2万1,189ヘクトリットル、食酢製造所向けは2万11ヘクトリットルだった。カスティーリャ・ラ・マンチャ州とカタルーニャ州が大半を占め、2つの出荷先を合わせた量はそれぞれ1万8,913ヘクトリットル、1万2,623ヘクトリットルだった。別の区分では、自己勘定による取引が9万6,654ヘクトリットルとなり、白ワインが5万8,429ヘクトリットル、赤ワインとロゼワインが3万8,225ヘクトリットルだった。

システム上で報告された9月の輸出量は137万ヘクトリットルだった。欧州連合（EU）向けが92万4,098ヘクトリットル、EU域外向けが44万1,585ヘクトリットルで、申告された国外出荷量の67.7%をEUが占めた。省によると、これらの数値はINFOVIの対象事業者からの申告に限られ、他の企業が扱う輸出を捉えていない可能性があるため、参考値にとどまる。実際に行われた輸出の公式な参照先はDatacomexだとしている。

輸出先によって出荷されたワインの形態は異なった。EU向けはバルクワインが66万4,003ヘクトリットルで全体の71.9%を占め、瓶詰めワインは26万95ヘクトリットルだった。EU域外向けでは逆に、瓶詰めワインが29万7,253ヘクトリットルで67.3%を占め、バルクワインは14万4,332ヘクトリットルだった。省は、これらの割合が示すのは出荷量のみであり、収益や価格について結論を導くことはできないとしている。

国外向け出荷量はカスティーリャ・ラ・マンチャ州が78万8,771ヘクトリットルで最多となり、このうち66万1,634ヘクトリットルがEU向けだった。2位はバレンシア州の17万6,287ヘクトリットルで、カタルーニャ州が10万5,117ヘクトリットル、エストレマドゥーラ州が7万8,307ヘクトリットル、ムルシア州が7万3,988ヘクトリットルで続いた。バレンシア州の出荷先構成はカスティーリャ・ラ・マンチャ州と異なっていた。EU域外向けは13万6,723ヘクトリットルで、同じ仕向け先へのカスティーリャ・ラ・マンチャ州の出荷量12万7,137ヘクトリットルを上回った。バレンシア州からEU域外へ出荷されたワインのうち、バルクワインは11万138ヘクトリットルだった。

9月の海外からのワイン搬入量は7万5,156ヘクトリットルで、EUからが5万946ヘクトリットル、EU

域外からが2万4,210ヘクトリットルだった。バルクワインが7万3,567ヘクトリットルを占め、瓶詰めワインは1,589ヘクトリットルだった。地域別ではカスティーリャ・ラ・マンチャ州が2万9,699ヘクトリットル、ムルシア州が1万5,293ヘクトリットル、エストレマドゥーラ州が1万3,196ヘクトリットルで、いずれも最多の搬入量を記録した。

非濃縮ブドウ果汁の出荷先は、引き続きEUに大きく偏っていた。国外向けとして申告された11万7,388ヘクトリットルのうち、EU向けが11万7,222ヘクトリットルで、EU域外向けはわずか166ヘクトリットルだった。カスティーリャ・ラ・マンチャ州からの出荷が8万4,463ヘクトリットルで最多となり、カタルーニャ州が1万9,825ヘクトリットル、バレンシア州が1万3,100ヘクトリットルで続いた。その他の果汁製品は別途集計され、濃縮果汁が1万9,448ヘクトリットル、精留濃縮果汁が1万9,519ヘクトリットル、部分発酵果汁が72ヘクトリットルだった。